

令和6年度ふじさんネットワーク総会・活動報告会

日時：令和6年6月15日（土）

午前10時から

場所：プラサヴェルデ401

次 第

1 令和6年度ふじさんネットワーク総会（午前10時から11時20分）

（1）開会挨拶

（2）議事

- ・第1号議案 令和5年度ふじさんネットワーク事業報告
- ・第2号議案 令和5年度ふじさんネットワーク収支決算
- ・第3号議案 令和5年度富士山寄付記念品事業（特別事業）事業報告
- ・第4号議案 令和5年度富士山寄付記念品事業（特別事業）収支決算
- ・第5号議案 令和6年度ふじさんネットワーク事業計画（案）
- ・第6号議案 令和6年度ふじさんネットワーク収支予算（案）
- ・第7号議案 令和6年度富士山寄付記念品事業（特別事業）事業計画（案）
- ・第8号議案 令和6年度富士山寄付記念品事業（特別事業）収支予算（案）

（3）エコレンジャー登録式（午前11時20分から11時30分）

（4）閉会挨拶

2 休憩（午前11時30分から11時40分）

3 活動報告会（午前11時40分から午後0時10分）

- ・静岡県立御殿場南高等学校
- ・特定非営利活動法人里の楽校

令和6年度 ふじさんネットワーク総会資料

令和6年6月15日(土)



資料目次

1 議案

第 1 号議案	令和5年度ふじさんネットワーク事業報告	P1
第 2 号議案	令和5年度ふじさんネットワーク収支決算	P11
第 3 号議案	令和5年度富士山寄付記念品事業（特別事業）事業報告	P13
第 4 号議案	令和5年度富士山寄付記念品事業（特別事業）収支決算	P14
第 5 号議案	令和6年度ふじさんネットワーク事業計画（案）	P16
第 6 号議案	令和6年度ふじさんネットワーク収支予算（案）	P19
第 7 号議案	令和6年度富士山寄付記念品事業（特別事業）事業計画（案）	P20
第 8 号議案	令和6年度富士山寄付記念品事業（特別事業）収支予算（案）	P20
役員名簿、会則		P21

2 ふじさんネットワーク設立 25 周年記念イベントに係る資料

資料 1	ふじさんネットワーク設立 25 周年記念シンポジウム	P26
資料 2	富士山エコレンジャー自然体験イベント	P29
資料 3	記念ノベルティグッズの製作	P30

【第1号議案】

令和5年度ふじさんネットワーク事業報告

1 会議の開催

(1) 総会の開催

- ア 日 時 令和5年6月3日 午前9時30分から10時45分
イ 場 所 プラサヴェルデ 301・302 会議室
ウ 内 容 令和4年度事業報告・収支決算、令和5年度事業計画・収支予算等を議案として提出し、全て承認された。

(2) 幹事会の開催

ア 第1回幹事会 ※書面会議

- (ア) 内 容 令和4年度幹事会における議案の修正について

イ 第2回幹事会

- (ア) 日 時 令和5年10月18日 午前10時から正午

- (イ) 場 所 プラサヴェルデ 402 会議室

- (ウ) 内 容 ふじさんネットワーク設立25周年記念イベントについて

ウ 第3回幹事会 ※書面会議

- (ア) 内 容 令和5年度第2回幹事会における議案の修正について

エ 第4回幹事会

- (ア) 日 時 令和6年3月16日 午前10時30分から11時30分

- (イ) 場 所 沼津商工会議所会館 大会議室

- (ウ) 内 容 令和5年度事業報告・収支決算、令和6年度事業計画・収支予算等を議案として提出し、全て承認された。

2 情報発信事業

(1) 情報誌制作

ア 一般向けの情報誌（ふじさんネットワーク）

- 会員へのインタビュー記事や、ネットワークの活動記録など、富士山の環境保全に関する幅広い情報を掲載した。
年2回（12月、3月）、3,500部ずつ発行した。

イ 会員向けの情報誌（ふじさんネットワーク通信）

- イベント情報等の最新情報等を掲載した。

- A4判・2P、会員人数分発行した（令和5年度に8回発行）。



ウ イベントにおける情報発信

富士山世界文化遺産登録 10 周年記念式典（令和 5 年 6 月 22 日）、「富士山の日」フェスタ 2024（山梨県）（令和 6 年 2 月 23 日）において、ブース出展し、ふじさんネットワーク及び事業内容の周知を実施。



富士山世界文化遺産登録 10 周年記念式典



「富士山の日」フェスタ 2024

(2) ホームページ運営

ア ホームページのリニューアル

令和 5 年 3 月の幹事会において提案のあった、ホームページのスマートフォン対応化に併せて、内容をリニューアルした。



イ ホームページの内容の更新

静岡県内外の多くの方に富士山の環境保全意識を高めるため、ホームページを運営し、イベントや会員の情報発信等、富士山に関する多くの情報を発信した。また、会員等に対して定期的に情報を発信するため、メールマガジンを配信した（8 回配信）。

(3) SNS の運用

ア 「ふじさんネットワーク正会員」の紹介動画の作成及び YouTube 発信

ふじさんネットワーク正会員の活動を広く周知することで、新型コロナウイルスの影響で縮小した富士山に関する自然環境保全活動の気運を高め、関係団体の活動の活性化を図る。（動画シリーズ名：富士山のまもりびと）

令和 5 年度は特定非営利活動法人 富士市のごみを考える会の活動を紹介。

※ふじのくにメディアチャンネルで
配信中（静岡県公式チャンネル）

YouTube の
二次元コード→



イ X（エックス）による情報発信

ふじさんネットワーク事業における広報を強化するため、公式 SNS を開設した。

項目	内容
開設日	・令和5年7月開設
フォロワー インプレッション	・42 フォロワー ・33,599 回（令和5年度投稿分）
ポスト数	・23 ポスト
発信内容	・ネットワーク通信 ・各種イベントの募集 ・活動成果 等



アカウント

二次元コード

3 マナー啓発事業

(1) 富士山エコレンジャー事業

富士山憲章の周知及び定着、並びに富士山の豊かな自然環境の保全及び継承を図るため、エコレンジャーが来訪者に対する情報提供やマナー啓発等に取り組んだ。

富士山エコレンジャーを補佐する「富士山エコサポーター」は、所定の研修を受講しつつ、エコレンジャーとともに来訪者のマナー啓発や安全指導に取り組んだ。

ア 活動実績

登録者数：エコレンジャー11名、エコサポーター10名、計21名（3月末）

年度	4～6月	7月	8月	9月	10～2月	計
R 5	延べ25日	延べ21日	延べ12日	延べ8日	延べ35日	延べ101日

イ 合同活動

個別の活動以外にエコレンジャー連絡会として活動した。

※参加人数はエコレンジャー等の人数を示し、県職員等は含まない。

(ア) 植生保全パトロール（登山実践の研修会と合わせて実施）

平成25年度に静岡県が実施した「富士山麓植生保全パトロール業務委託」実施箇所の継続的なモニタリング。下表には、その中でも年間活動計画に記載されている環境パトロールのうち該当するものを記載した。

No	調査日	場 所	内 容	参加人数
1	10/7	御殿場口新五合目→二子塚→幕岩→御殿場口新五合目	次の視点により、登山道周辺の植生にダメージがないか、パトロールを実施した。	5人
2	11/11	水ヶ塚駐車場→御殿庭→ガラン沢→旧料金所	・貴重な植物の採取、踏みつけ ・外来植物の侵入等の人為的な影響	3人
3	12/2	旧料金所→ガラン沢→御殿庭下→水ヶ塚駐車場	・動物による食害 ・その他自然的な影響等	5人

(イ) UTMF (ウルトラトレイルマウントフジ) 意見交換会

開催日	場 所	内 容	参加人数
9/5	山梨県富士吉田市 (富士吉田市民会館)	2024年大会に関する全体会議。主催者及び関係者と、トレイルランニング大会が環境に与える影響について議論した。(幹事がリモート参加)	1人

(ウ) 富士山エコレンジャー・エコサポーター研修会

No	日程	講 師	場 所	内 容	参加人数
1	11/3	ふじさんネットワーク事務局	西臼塚駐車場	自然環境 (外来植物撲滅大作戦Ⅱ)	3人
2	11/25	NPO 富士山自然の森づくり 常葉大学社会環境学部 浅見准教授	根原県有地	自然環境 (草原性植生保全活動体験)	2人
3	2/3	静岡県自然保護課	富士市文化会館 ロゼシアター 第4会議室	静岡県施策	13人
		富士山エコレンジャー連絡会 幹事 吉永耕一氏		活動の基本	
		富士山エコレンジャー連絡会 幹事 吉永耕一氏		討論発表	
4	3/3	環境省沼津管理官事務所 安生国立公園管理官	富士市文化会館 ロゼシアター 第3会議室	環境省施策	14人
		日本野鳥の会 南富士支部		自然関係③ (動物)	
		富士市西消防署		救急救命	
5	3/16	静岡大学 増澤教授	沼津商工会議所 会館	自然関係② (植物)	10人
		静岡大学 小山教授		自然関係① (噴火)	

ウ エコレンジャー連絡会

総会の開催 (令和5年6月に書面開催)

(ア) 令和4年度事業報告

環境パトロール、研修会等の実施状況

(イ) 役員改選

代表幹事、幹事をエコレンジャーの中から選出、承認

- ・代表幹事 富士山の自然を守る会 福原 みさよ 氏 (新)
- ・幹 事 富士自然観察の会 吉永 耕一 氏 (再)
- 富士山の自然を守る会 小島 正 氏 (再)
- F Jエコチーム 鈴木 啓之 氏 (再)

富士自然観察の会 齊藤 久美恵 氏 (再)
 住友林業株式会社 富士山「まなびの森」
 沢田 明宏 氏 (新)

(ウ) 令和5年度事業計画

環境パトロール、研修会等の実施予定等

(エ) 富士山エコレンジャーの新規登録者について

富士山エコレンジャーへの再登録者

4 富士山環境学習事業

(1) 環境学習事業

富士山環境保全意識の高揚を図るため、自然観察会と富士山勉強会を次のとおり開催した。

月日	コース名	場 所	人数	講師等
8/19	「富士山の恵み 柿田川」 親子で水に親しむ自然観察会	柿田川公園	69名	(公財) 柿田川みどりのトラスト 柿田川自然保護の会
3/16	富士山勉強会	沼津商工会 議所会館	56名	「富士山の植物」 静岡大学 増澤教授 「火山としての富士山」 静岡大学 小山教授

(2) 活動体験事業

県、市、会員団体等と富士山における環境保全活動を実施した。

No	月日	コース名	場 所	人数	指導者
1	6/24	富士山ごみ減量大作戦Ⅰ	富士市桑崎	75名	県、富士市、24時間テレビ チャリティー委員会と共催
2	10/9 (中止)	富士山麓外来植物撲滅大作戦Ⅰ	須走口五合目 駐車場 (小山町須走)	応募 16名	(株)環境アセスメン トセンター
3	10/22	富士山ごみ減量大作戦Ⅱ	裾野市須山	57名	県、裾野市、24時間テレビ チャリティー委員会と共催
4	11/3	富士山麓外来植物撲滅大作戦Ⅱ	西臼塚駐車場 (富士宮市栗倉)	22名	富士自然観察の会
5	2/24	富士山ごみ減量大作戦Ⅲ	富士宮市村山	65名	県、富士宮市、24時間テレビ チャリティー委員会、(株)三井エ ンタープライズと共催

(3) 学習リーフレット作成事業

ア 周知・啓発

子どもたちに富士山への親しみや興味を喚起し、富士山の自然を守り、大切にすることを育てるための電子書籍リーフレット「富士山からの挑戦状」を電子書籍ポータルサイト「Shizuoka ebooks」に掲載中。



イ 「富士山からの挑戦状」を活用した教育機関向け研修講座

令和3年度に実施したアンケート調査結果から、県内の子どもたちの富士山への親しみや興味、富士山を大切にすることを育てることを目的とした「富士山学習」の取組をさらに強化していく必要性を認識。

このため、既存の教職員向け研修講座、及び富士山学習に取り組む小学校に対して、「富士山からの挑戦状」の執筆・監修者である、本会 副会長の「NPO 法人ふじ環境研究所 理事長 山田辰美 氏」を講師として派遣し、「富士山学習」の講演を行った。

(ア) 講演内容

No	月日	主催	対象	参加者	講演タイトル
1	7月20日	小山町立須走小学校 (駿東郡小山町)	須走小学校5、6年生	57名	地球と富士山
2	11月30日	富士市立伝法小学校 (富士市)	伝法小学校3、4年生	172名	地球と富士山
2	12月20日	富士市教育プラザ (富士市)	・小中学校教員 ・自然観察会等	41名	富士山とSDGs

(イ) 講演参加者の声 (一部抜粋)

- 富士山でアサギマダラの増加中の訳は？アサギマダラという虫がいることを知らなかった。富士山に生息している生き物に興味を持った。(小学6年生)
- 掃除をしてきれいな富士山にしたり、見た目だけでなく登った人もきれいだと思ってもらえる富士山にしたい。(小学5年生)
- 富士山がいつ富士にできたかを、詳しく知りたい。富士山の秘密を知りたい。(小学3年生)
- テレビや新聞、雑誌などで地球環境のことがいろいろと話題になっています。でも山田先生の話の聞くと、それらが更によく理解できました。やはり、TVで見たり聞くより、実際に講義を受けると更に体に入ってきました。ありがとうございました。(自然観察会)
- 総合学習で、地域のことについて学ぶ際の資料として、宿泊行事で富士五湖周辺のキャンプ場を使うため、その下調べの資料として利用できそうです。(学校教員)
- シカの影響の話はとてもわかりやすく、子どもたちもくいつきやすいので環境教育に取り入れやすいと思いました。(学校教員)

5 会員活動支援事業

富士山憲章の周知定着と環境保全活動の更なる推進を図るため、会員の自主的な環境保全活動を補助金により支援した。

(1) 富士山環境保全事業費補助金（限度額 10 万円）

- ・ 4 会員に補助金を交付した。

No	交付決定日	会 員 名	補助額	補助事業内容
1	10/4	富士山の自然を守る会	61,560 円	富士山の環境保全を啓発するための現地観察、学習会
2	10/4	特定非営利活動法人里の楽校	100,000 円	富士山麓の昆虫類等の生物相調査
3	10/4	静岡県立御殿場南高等学校	45,428 円	富士山麓のビオトープの調査、検証、研究発表
4	10/13	柿田川・東富士の地下水を守る連絡会	100,000 円	富士山の自然保護・保全啓発のための観察会及びセミナー
合計			306,988 円	

(2) 富士山環境保全活動応援金（限度額 3 万円）

- ・ 11 会員に応援金を 3 万円ずつ、交付した（合計 33 万円）。

No	交付決定日	会 員 名
1	10/4	特定非営利活動法人富士市のごみを考える会
2	10/4	三島ゆうすい会
3	10/4	富士山の自然を守る会
4	10/4	富士山自然誌研究会
5	10/4	特定非営利活動法人土に還る木森づくりの会
6	10/4	認定特定非営利活動法人富士山クラブ
7	10/4	富士自然観察の会
8	10/4	特定非営利活動法人ふじ環境研究所
9	10/4	公益財団法人富士社会教育センター
10	10/4	ボーイスカウト長泉第2団
11	10/13	柿田川・東富士の地下水を守る連絡会

(3) 富士山みがきあげ作戦の実施

五合目以下の道路等に捨てられたごみについて、地元企業等の自主的な実態調査・清掃活動を促進するため、富士山みがきあげ作戦を支援した。

※6団体12回申込 延べ178名。

No	活動日	実施団体	参加人数
1	4/12	キリンディスティラリー株式会社	15人
2	4/13	キヤノン株式会社 富士裾野リサーチパーク	17人
3	5/9	森永乳業株式会社 富士工場	23人
4	5/10	キリンディスティラリー株式会社	16人
5	6/7	イオングループ労働組合連合会中部地域会議	7人
6	7/12	キリンディスティラリー株式会社	14人
7	8/18	公益財団法人富士社会教育センター	10人
8	9/1	公益財団法人富士社会教育センター	17人
9	9/13	キリンディスティラリー株式会社	12人
10	10/11	キリンディスティラリー株式会社	9人
11	12/27	株式会社美幸輝	14人
12	12/28	森永乳業株式会社 富士工場	24人
計			178人

※清掃活動の参加者に対する傷害保険の提供や清掃活動時の備品（腕章・のぼり旗）の貸出を行った。



(4) 傷害保険事業

富士山地域における会員の森づくり活動、清掃活動、自然観察会等の環境保全活動について、一括して傷害保険に加入した。

※延べ加入者2,749名、保険適用0人。

富士山エコレンジャー活動については、個人が特定されていることや活動を頻繁に行っているため、ボランティア活動保険（個人・年間契約）に加入した。

※23名（エコサポーター含む）。

6 ふじさんネットワーク 25周年記念イベント

名 称	「1日子どもエコレンジャー体験会」
日 時	令和5年7月29日（土）
場 所	西臼塚（富士山自然休養林Lコース）、住友林業富士山「まなびの森」
内 容	富士山エコレンジャーの案内のもと、富士山の自然を体験し、保全活動の大切さを体感してもらうイベント
参加者数	4名（子ども1名、大人3名）
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・木の種類が沢山あることを学べた。蟬の抜け殻が落ちていた。調べてみたい。 ・山登りをしても、普段ゆっくり歩いて自然を見ることはなかった。自然の大切さを広める活動は大切だと思う。 ・自然を身近に感じ、色々なことを知ることができ、とても癒やされた。
課 題	・親子で20名の募集で、子ども10名程度の参加を想定していたが、子どもの参加者数が1名だった。
改善が必要な点	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方が参加したいと感じるように、内容、場所、時期等を見直す。 ・参加者募集の広報を余裕を持って早期に行う。 ・ボーイスカウト等の多くの参加が見込める団体等に向けた周知を行う。

7 寄付金の受け入れ

マックスバリュ東海株式会社から令和5年度に 539,653円の寄付を受納した。

なお、平成15年度から継続して寄付をいただいております。合計の寄付金額は約1,200万円となった。



令和5年6月16日の感謝状贈呈式の様子（令和4年度寄付金分）



令和6年2月14日の感謝状贈呈式の様子（令和5年度寄付金分）

8 会員数の推移

年月日	正会員	賛助会員	合計 (団体・個人)	増加
平成12年 3月31日	124	27	151	-
平成13年 3月31日	135	31	166	15
平成14年 3月31日	138	33	171	5
平成15年 3月31日	186	73	259	88
平成16年 3月31日	209	131	340	81
平成17年 3月31日	228	147	374	34
平成18年 3月31日	224	160	384	10
平成19年 3月31日	231	174	405	21
平成20年 3月31日	234	179	413	8
平成21年 3月31日	233	179	412	-1
平成22年 3月31日	235	185	420	8
平成23年 3月31日	233	205	438	18
平成24年 3月31日	239	223	462	24
平成25年 3月31日	244	229	473	11
平成26年 3月31日	252	239	491	18
平成27年 3月31日	253	241	494	3
平成28年 3月31日	254	241	495	1
平成29年 3月31日	256	246	502	7
平成30年 3月31日	266	269	535	33
平成31年 3月31日	262	282	544	9
令和2年 3月31日	260	291	551	7
令和3年 3月31日	257	301	558	7
令和4年 3月31日	258	309	567	9
令和5年 3月31日	258	310	568	1
令和6年 3月31日	254	311	565	-3

入退会の内訳 (令和6年3月31日時点)

	4年度 会員数	5年度 入会数	5年度 退会数	5年度 会員数
正会員	258	1	5	254
賛助会員	310	5	4	311
計	568	6	9	565

退会の主な理由：会社都合、死亡、その他

【第2号議案】

令和5年度ふじさんネットワーク収支決算

1 収入

・収入額増の主な要因は、企業からの寄付金の増。

(単位：円)

No.	区 分	予算額	決算額	差 引	備考
1	負担金	3,150,000	3,150,000	0	静岡県
2	繰越金	4,771,829	4,771,829	0	前年度繰越金
3	繰入金	0	0	0	
4	その他収入	478,171	541,246	63,075	寄付金・預金利息
	合 計	8,400,000	8,463,075	63,075	

2 支出

・支出額減の主な要因は、契約差金等。

(単位：円)

No.	区 分	予算額	決算額	差 引	備考
1	会議の開催	200,000	192,514	▲ 7,486	
2	情報発信事業	2,750,000	2,279,690	▲ 470,310	
	(1)情報誌制作	750,000	446,030	▲ 303,970	情報誌のデザイン・印刷
	(2)ホームページ運営	2,000,000	1,833,660	▲ 166,340	ホームページ運営管理 スマートフォン対応
3	マナー啓発事業	350,000	56,800	▲ 293,200	
	(1)富士山エコレンジャー事業	200,000	56,800	▲ 143,200	保険・講習会開催費用
	(2)啓発物品作成事業	150,000	0	▲ 150,000	啓発物品作成
4	富士山環境学習事業	1,180,000	398,110	▲ 781,890	
	(1)環境学習事業	330,000	109,869	▲ 220,131	勉強会、自然観察会
	(2)活動体験事業	700,000	177,500	▲ 522,500	外来種駆除、草刈体験
	(3)学習リーフレット作成事業	150,000	110,741	▲ 39,259	富士山からの挑戦状
5	会員活動支援事業	1,815,000	715,037	▲ 1,099,963	
	(1)会員活動補助事業	1,665,000	629,818	▲ 1,035,182	会員活動補助金・応援金
	(2)傷害保険事業	150,000	85,219	▲ 64,781	正会員に対する保険
6	ふじさんネットワーク25周年記念イベント	500,000	75,130	▲ 424,870	1日子どもエコレンジャー体験会
7	その他事業費	1,605,000	59,943	▲ 1,545,057	備品購入費等
	合 計	8,400,000	3,777,224	▲ 4,197,906	

収入決算額 8,463,075 円－支出決算額 3,777,224 円＝4,685,851 円＝翌年度繰越額

令和5年度ふじさんネットワーク会計監査報告

令和5年度ふじさんネットワークの会計について、会計書類及び帳簿等を監査した結果、その会計事務処理は適法かつ適正であると認めます。

令和6年5月21日

ふじさんネットワーク監事

アサヒビール株式会社中部支社静岡支店
支店長

香本 劇児



マックスバリュ東海株式会社
経営企画本部 戦略部 広報・IR・社会貢献グループマネージャー

安部 伸一



【第3号議案】

令和5年度富士山寄付記念品事業（特別事業）事業報告

- 1 令和5年度収入額等（令和5年度末：666,124円（昨年同時期：431,585円））
- ・SAVE Mt.FUJI 446個（昨年同時期：349個）
 - ・花シリーズ（5個セット） 455個(91セット）（昨年同時期：200個(40セット)）
 - ・雲シリーズ（4個セット） 1,764個(441セット）（昨年同時期：960個(240セット)）
 - ・手ぬぐい 198枚(昨年同時期：187枚)

※年度末にまとめて配布数の精算を行う施設分は含まれていない。

2 配布依頼先一覧

No	施設名	所在地	備考
1	雲海荘	富士山富士宮ルート(六合目)	
2	宝永山荘	同上	
3	菊屋	富士山須走ルート(五合目)	
4	東富士山荘	同上	
5	富士川楽座	富士市	
6	ギフトショップ東海道表富士	同上	
7	富士山観光交流ビューロー	同上	
8	浅間大社境内売店ここずらよ	富士宮市	
9	秩父宮記念公園	御殿場市	
10	国立中央青少年交流の家	同上	
11	富士山樹空の森	同上	
12	道の駅すばしり	小山町	
13	富士山静岡空港内Yショップ	牧之原市	
14	富士山静岡空港免税店	牧之原市	
15	道の駅あさざり高原	富士宮市	
16	田貫湖ふれあい自然塾	富士宮市	
17	奇石博物館	富士宮市	
18	御胎内温泉健康センター	御殿場市	
19	山梨県立富士山世界遺産センター	山梨県富士河口湖町	
20	静岡県立富士山世界遺産センター	静岡県富士宮市	
21	日本平夢テラス	静岡市清水区	
22	三保松原文化創造センター みほしるべ	静岡市清水区	
23	佐野美術館	三島市	
24	ベルナルド・ビュッフェ美術館	駿東郡長泉町	
25	静岡県立美術館	静岡市駿河区	
26	ふじさんミュージアム	山梨県富士吉田市	
27	森の駅「富士山」	裾野市須山字浅木塚地内	

3 その他

富士山ありがとうイベント（マックスバリュ東海株式会社沼津南店）、及び世界遺産登録10周年記念式典（東京都）で、配付及びPRを実施

【第4号議案】

令和5年度富士山寄付記念品事業（特別事業）収支決算

1 収入

- ・収入は昨年度を約20万円上回った。

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	備考
1 寄付金	457,534	666,124	208,590	ピンバッジ募金
2 繰越金	1,742,457	1,742,457	0	前年度繰越金
3 その他収入	9	14	5	預金利息
合計	2,200,000	2,408,595	208,595	

2 支出

- ・返品対応に係る経費を予備費から支出した。

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	備考
1 ピンバッジ作成費	0	0	0	
2 予備費	2,200,000	840	▲ 2,199,160	
合計	2,200,000	840	▲ 2,199,160	

(注) 科目間の流用を認める。

収入合計 2,408,595 円

支出合計 840 円

翌年度繰越 2,407,755 円



SAVE Mt.FUJI

大きさ:直径26mm

1口 300円以上



花シリーズ (5種)

大きさ:直径66mm (5個セット)

1口 1,000円以上



令和5年度富士山寄付記念品事業（特別事業）会計監査報告

令和5年度富士山寄付記念品事業(特別事業)の会計について、会計書類及び帳簿等を監査した結果、その会計事務処理は適法かつ適正であると認めます。

令和6年5月21日

ふじさんネットワーク監事

アサヒビール株式会社中部支社静岡支店
支店長

香本 創児



マックスバリュ東海株式会社
経営企画本部 戦略部 広報・IR・社会貢献グループマネージャー

安部 伸一



【第5号議案】

令和6年度ふじさんネットワーク事業計画（案）

1 ふじさんネットワーク設立25周年記念イベント

ふじさんネットワークが令和6年度に設立25周年を迎える（平成11年10月23日設立）にあたり、富士山の環境保全に関する理念や富士山憲章、活動状況等を、広く県民の方に理解していただく記念事業を開催する。

議案	企画1	企画2	企画3
事業名	記念シンポジウム	富士山エコレンジャー体験イベント	ノベルティグッズ製作
開催日	10月13日（日）	10月20日（日） ※予備日 10月27日（日）	企画1と同時期
会場	富士ロゼシアター （富士市）	西臼塚 富士山ふれあいの 森林遊歩道	-
参加者	400人程度	20人程度	-
内容	(1) 記念講演 (2) ネットワーク紹介 (3) 鼎談	(1) オリエンテーション (2) 遊歩道でのフィールド マナーの学習、樹木・草花の 情報収集など (3) 振り返り	エコバックの制作
予算	1,550,000円	200,000円	750,000円
詳細	資料1	資料2	資料3

2 富士山勉強会の開催時期変更

勉強会の参加者の減少や、参加する幹事の負担軽減のため、勉強会の開催日を令和6年度より、幹事会当日（3月）から、総会当日（6月）に変更する。なお、会員の活動発表会については例年どおり総会当日（6月）に行う。

変更前		変更後	
6月	総会 活動発表会	6月	総会 活動発表会 勉強会
3月	幹事会 勉強会	3月	幹事会

3 会員活動補助事業の見直し

(1) 概要

①「富士山環境保全事業費補助金」と、②「富士山環境保全活動応援金」の2つの会員活動補助事業について、令和6年度に制度の見直しを行い、令和7年度に制度改正を行う。

(2) 見直しの内容

①の補助金については、令和5年度に7会員分の募集に対して、4会員の交付決定に留まった。理由として、補助対象経費が「新規事業又は既存の事業予算額を拡大する事業」に限定されていること等が考えられるため、制度内容の見直しを行う。

また、②の応援金については、令和3年度にWithコロナにおける正会員の富士山に関する自然環境保全活動を応援するために新設したが、令和5年度に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、各種行動制限が緩和され、各団体の活動が復調に向かっているため、上記と併せて補助制度の見直しを行う。

	①補助金	②応援金
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・10万円／1会員 ・令和5年度：4会員申請 (7会員募集) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3万円／1会員 ・令和5年度：11会員申請 (30会員募集)
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の内容で継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の内容で継続

令和6年度	上半期	<ul style="list-style-type: none"> ○会員活動補助事業の見直し 主な改正内容（案） ・補助対象事業 →新規、予算拡充事業以外の事業への補助の検討 ・補助金申請手続き →見直し ○正会員へのアンケート調査
	下半期	<ul style="list-style-type: none"> ○正会員へのアンケート調査取りまとめ ○幹事会への見直し案の提出

令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度総会で、会員活動補助事業見直し案の承認 ・令和7年夏から補助事業募集受付開始
-------	---

4 年間事業計画（案）

区 分	内 容	
1 会議の開催	(1) 総 会	令和6年6月15日（土）
	(2) 幹事会	令和7年3月
2 情報発信事業	(1) 情報誌の発行	ふじさんネットワーク情報誌(年2回) ふじさんネットワーク通信（随時）
	(2) ホームページの運営	ホームページの保守管理（4月1日契約） メールマガジン発行
	(3) SNSの運用	ネットワークの紹介動画(YouTube 動画) の掲載 各種情報提供
3 マナー啓発事業	(1) 富士山エコレンジャー事業	活動、研修及び装備費用
	(2) 啓発物品作成事業	寄付記念品ポスター・チラシ等
4 富士山環境 学習事業	(1) 環境学習事業	①自然観察会（柿田川） 1回
		②活動発表会（総会と同日） 1回
		③富士山勉強会（総会と同日） 1回
	(2) 活動体験事業	①富士山麓外来植物撲滅大作戦 2回
②富士山草原性植生保全活動体験 1回		
(3) 学習リーフレット作成事業	③ごみ減量大作戦 3回	
5 会員活動 支援事業	(1) 富士山環境保全事業費補助金（7会員）	内容の改訂、講演（県内小学校教員を対象）
	(2) 富士山環境保全活動応援金（30会員）	
	(3) 富士山みがきあげ作戦（のぼり旗等の提供）	
	(4) 会員活動傷害保険への加入（年度開始前契約）	
6 設立25周年記 念イベント	記念シンポジウム	10月13日（日）
	富士山エコレンジャー自然体 験イベント	10月20日（日）予備日27日（日）
	ノベルティグッズ製作	10月頃

【第6号議案】

令和6年度ふじさんネットワーク収支予算（案）

1 収入

- ・ 県負担金及び寄付金は令和5年度と同程度を見込む。

（単位：円）

No.	区 分	R 5年度予算額	R 6年度予算額	差 引	備考
1	負担金	3,150,000	3,150,000	0	R 5年度と同様
2	繰越金	4,771,829	4,685,851	▲ 85,978	前年度繰越金
3	繰入金	0	0	0	
4	その他収入	478,171	564,149	85,978	寄付金・預金利息
	合 計	8,400,000	8,400,000	0	

2 支出

- ・ 令和6年度予算額は、令和5年度予算額と同額とする。

（単位：円）

No.	区 分	R 5年度予算額	R 6年度予算額	差 引	備考
1	会議の開催	200,000	200,000	0	R5よりその他事業費から独立
2	情報発信事業	2,750,000	1,750,000	▲ 1,000,000	
	(1)情報誌制作	750,000	750,000	0	情報誌のデザイン・印刷
	(2)ホームページ運営	2,000,000	1,000,000	▲ 1,000,000	ホームページ運営管理
3	マナー啓発事業	350,000	450,000	100,000	
	(1)富士山エコロジー事業	200,000	300,000	100,000	講習会開催費、装備品等
	(2)啓発物品作成事業	150,000	150,000	0	
4	富士山環境学習事業	1,180,000	1,230,000	50,000	
	(1)環境学習事業	330,000	330,000	0	勉強会、自然観察会
	(2)活動体験事業	700,000	700,000	0	外来種駆除、草刈体験
	(3)学習リーフレット作成事業	150,000	200,000	50,000	出張講義等
5	会員活動支援事業	1,815,000	1,750,000	▲ 65,000	
	(1)会員活動補助事業	1,665,000	1,600,000	▲ 65,000	補助金:70万円(10万円×7件) 応援金:90万円(3万円×30件)
	(2)傷害保険事業	150,000	150,000	0	正会員に対する保険
6	ふじさんネットワーク25周年記念イベント	500,000	0	▲ 500,000	1日子どもエコロジー体験イベント
7	設立25周年記念イベント	0	2,500,000	2,500,000	
8	その他事業費	1,605,000	520,000	▲ 1,085,000	備品購入費等
	合 計	8,400,000	8,400,000	0	

※科目間の流用は認める。

【第7号議案】

令和6年度富士山寄付記念品事業（特別事業）事業計画（案）

富士山の環境保全への関心を高めるとともに、ふじさんネットワークの活動原資とするため寄付を募り、寄付者への記念品として「富士山ピンバッジ」及び「富士山手ぬぐい」を配布する。

1 配布協力先の新規開拓

引き続き、ピンバッジ及び手ぬぐいについて、配布協力先の新規開拓に努める。

2 ピンバッジ及び手ぬぐいの配布

ホームページを利用した県内外への協力の呼び掛けや各種イベント会場における呼び掛けにより、環境保全活動への寄付金を募ると共に、寄付者に対し記念品を配布する。

3 ピンバッジの作成

在庫の少ない、雲シリーズ及び手ぬぐいについて、新たにそれぞれ1,200セット、1,000枚を作成する。

【第8号議案】

令和6年度富士山寄付記念品事業（特別事業）収支予算（案）

1 収入

（単位：円）

No	区分	5年度 予算額	6年度 予算額	差 引	備考
1	寄付金	457,534	492,231	34,697	令和5年度並みを見込む
2	繰越金	1,742,457	2,407,755	665,298	前年度繰越金
3	その他収入	9	14	5	預金利息等
	合計	2,200,000	2,900,000	700,000	

2 支出

（単位：円）

No	区分	5年度 予算額	6年度 予算額	差 引	備考
1	記念品作成費	0	1,500,000	1,500,000	雲シリーズ1,200セット 手ぬぐい 1,000枚
2	予備費	2,200,000	1,400,000	▲ 800,000	
	合計	2,200,000	2,900,000	700,000	

（注）科目間の流用を認める

ふじさんネットワーク役員

令和6年6月15日時点

名誉会長	静岡県知事	鈴木 康友
会 長	特定非営利活動法人静岡自然環境研究会 理事長	増澤 武弘
副 会 長	公益財団法人柿田川みどりのトラスト 会長	漆畑 信昭
	特定非営利活動法人ふじ環境研究所 理事長	山田 辰美
	静岡県くらし・環境部環境局 局長	清 真人
幹 事	株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社東部総局 取締役東部総局長	嶋 晃司
	住友林業株式会社富士山「まなびの森」サステナビリティ推進部長	飯塚 優子
	特定非営利活動法人富士市のごみを考える会 事務長	小野 由美子
	特定非営利活動法人ホールアース自然学校 代表理事	山崎 宏
	日本放送協会静岡放送局 局長	本郷 徹志
	認定特定非営利活動法人富士山クラブ 静岡事務所長	深澤 寛貴
	富士急行株式会社 代表取締役社長	堀内 光一郎
	富士山エコレンジャー連絡会 代表幹事	福原 みさよ
	富士山本宮浅間大社 宮司	甲田 吉孝
	富士山をいつまでも美しくする会（小山町長）	込山 正秀
	富士自然観察の会 会長	小澤 緑
森のたね 代表	井戸 直樹	
監 事	アサヒビール株式会社中部支社静岡支店 支店長	香本 創児
	マックスバリュ東海株式会社経営企画本部戦略部広報・I R・社会貢献グループ マネージャー	安部 伸一
顧 問	環境省富士箱根伊豆国立公園管理事務所 所長	青柳 信太
	国土交通省富士砂防事務所 所長	光永 健男
	山梨県知事政策局 局長	石寺 淳一
	林野庁関東森林管理局静岡森林管理署 署長	高柳 威晴

任期：令和5年度総会から令和7年度総会まで

ふじさんネットワーク会則

(名称)

第1条 この会は、ふじさんネットワーク(以下「ネットワーク」という。)と称する。

(目的)

第2条 ネットワークは、富士山憲章(平成10年11月18日制定)の周知及び定着を図るとともに、富士山の環境保全運動を全国的な広がりをもって展開していくため、会員が自主的及び連携して活動することにより、富士山を世界に誇れる山として保全し、その恵みを後世に継承していくことに寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 ネットワークは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 富士山憲章の周知、定着に関すること。
- (2) 富士山の環境保全運動の展開に関すること。
- (3) 会員の相互交流の促進に関すること。
- (4) その他目的達成に必要な事項に関すること。

(会員の種類)

第4条 ネットワークの会員は、次の2種類とする。

- (1) 正会員 国、県、市町村、法人、企業及び団体等であつて、ネットワークの目的に賛同して入会したもの
- (2) 賛助会員 ネットワークの目的に賛同し、協力するために入会した個人等

(入会)

第5条 正会員及び賛助会員として入会しようとするものは、入会申込書(様式第1号)を会長に提出し、会長の承認を受けなければならない。

(退会)

第6条 会員は、退会しようとするときは、その旨を会長に届け出なければならない。

2 会員である法人等が解散したとき又は会員が死亡したときは、退会したものとみなす。

(役員の種別及び選任)

第7条 ネットワークに、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
 - (2) 副会長 若干名
 - (3) 幹事(会長及び副会長を含む) 10人以上20人以内
 - (4) 監事 2人
- 2 役員は、正会員のうちから総会において選任する。
- 3 会長及び副会長は幹事の互選により定める。
- 4 幹事及び監事は、相互に兼ねることができない。

(役員の職務)

第8条 会長は、ネットワークを代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 3 幹事は、幹事会を構成し、会務を処理する。
- 4 監事は、会計を監査する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 役員は、再任されることができる。
- 3 役員は、辞任し、又は任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(名誉会長及び顧問)

第10条 ネットワークに、名誉会長及び顧問を置くことができる。

- 2 名誉会長は、名誉職とし、総会の議決を経て定める。
- 3 顧問は、幹事会の議決を経て会長が委嘱する。
- 4 顧問は、重要な事項に関し会長の諮問に答える。

(会議)

第11条 ネットワークに、次の会議を置く。

- (1) 総会
- (2) 幹事会

(総会)

第12条 総会は、正会員で構成し、年一回を定例として会長が召集する。ただし、会長が必要と認めるときは臨時総会を開くことができる。

- 2 総会は、この会則に別に定めるもののほか、次の事項を審議、議決する。
 - (1) ネットワークの事業計画、収支予算、事業報告及び収支決算。ただし、総会の議決を受けることができない間は、年度開始前に開催する幹事会の承認による収支予算をもって執行することができる。
 - (2) その他会長が必要と認められた事項
- 3 総会の議長は、その総会において、出席した正会員のうちから選任する。
- 4 総会は、正会員の半数以上が出席(代理出席を含む。以下同じ。)しなければ、開くことはできない。
- 5 総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。この場合において、前項の規定の適用については、これを出席したものとみなす。
- 6 総会の議事は、出席正会員の過半数で決し、可否同数のときは議長が決する。

(幹事会)

第13条 幹事会は、会長、副会長、幹事で構成し、会長が召集する。

- 2 幹事会の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 幹事会は、この会則に別に定めるもののほか、次の事項を決定する。
 - (1) 総会の議決した事項の執行に関する事項
 - (2) 総会に付議すべき事項
 - (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(事務局)

第 14 条 ネットワークの事務を処理するため、ネットワークに事務局を置く。

2 事務局は、静岡県くらし・環境部環境局自然保護課に置く。

3 事務局に関し必要な事項は、会長が定める。

(事業年度)

第 15 条 ネットワークの事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年の 3 月 31 日をもって終わるものとする。

(解散)

第 16 条 ネットワークは、総会の議決により解散する。

(補足)

第 17 条 この会則に定めるもののほか、ネットワークの運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

1 この会則は、平成 11 年 10 月 23 日から施行する。

2 この会の設立当初の役員は第 7 条第 2 項、第 3 項の規定にかかわらず、別紙役員等名簿の会長、副会長、幹事、監査とし、その任期は第 9 条第 1 項の規定にかかわらず平成 13 年度の総会の日までとする。

3 この会の設立当初の顧問は、第 10 条第 3 項の規定にかかわらず、別紙役員等名簿のとおりとする。

4 この会の設立当初の事業年度は第 15 条の規定にかかわらず、設立の日から平成 12 年 3 月 31 日までとする。

附 則

この会則は、平成 14 年 6 月 15 日から施行し、平成 14 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この会則は、平成 16 年 5 月 29 日から施行し、平成 16 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この会則は、平成 17 年 5 月 28 日から施行し、平成 17 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この会則は、平成 19 年 5 月 19 日から施行し、平成 19 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この会則は、平成 22 年 5 月 15 日から施行し、平成 22 年 4 月 1 日から適用する。

富士山憲章

富士山は、その雄大さ、気高さにより、古くから人々に深い感銘を与え、「心のふるさと」として親しまれ、愛されてきた山です。

富士山は、多様な自然の豊かさとともに、原生林をはじめ貴重な動植物の分布など、学術的にも高い価値を持っています。

富士山は、私たちにとって、美しい景観や豊富な地下水などの恵みをもたらしています。この恵みは、特色ある地域社会を形成し、潤いに満ちた文化を育んできました。

しかし、自然に対する過度の利用や社会経済活動などの人々の営みは、富士山の自然環境に様々な影響を及ぼしています。富士山の貴重な自然は、一度壊れると復元することは非常に困難です。

富士山は、自然、景観、歴史・文化のどれひとつをとっても、人間社会を写し出す鏡であり、富士山と人との共生は、私たちの最も重要な課題です。

私たちは、今を生きる人々だけでなく、未来の子供たちのため、その自然環境の保全に取り組んでいきます。

今こそ、私たちは、富士山を愛する多くの人々の思いを結集し、保護と適正な利用のもとに、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを決意します。

よって、静岡・山梨両県は、ここに富士山憲章を定めます。

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日

静岡 山梨 両県
山 梨 県

ふじさんネットワーク設立 25 周年記念シンポジウム

1 要旨

ふじさんネットワーク（事務局：静岡県自然保護課）が、令和 6 年度に設立 25 周年を迎える（平成 11 年 10 月 23 日設立）にあたって、記念シンポジウムを開催する。

2 ねらい

- (1) 富士山憲章に基づき、富士山への親しみを広く一般の方に感じていただくこと
- (2) 富士山の環境保全に対する意識の高揚
- (3) ふじさんネットワークの認知度向上

3 イベント概要（案）

主 催	ふじさんネットワーク
日 時	令和 6 年 10 月 13 日（日） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分
場 所	富士市文化会館ロゼシアター 中ホール （静岡県富士市蓼原町 1750 番地）
出演者	講演者：工藤夕貴 氏 司会者：久保ひとみ 氏
参加者	400 人程度
参加費	無料
内 容	(1) 記念講演（質疑 10 分）：工藤夕貴 氏 (2) ふじさんネットワークの活動紹介：事務局 (3) 鼎談：工藤夕貴 氏、久保ひとみ 氏、増澤会長
予 算	予算 1,550 千円 ・講師司会の謝金 1,000 千円 ・会場使用料 200 千円 ・その他備品・広報費等 350 千円

4 スケジュール

令和 5 年 12 月 22 日	工藤夕貴 氏 初回打合せ（依頼内容の確認→合意）
令和 6 年 1 月 29 日	久保ひとみ 氏 初回打合せ（依頼内容の確認→合意）
令和 6 年 6 月	依頼文送付、シンポジウム広報、募集受付開始
令和 6 年 7 月～8 月	工藤夕貴 氏、久保ひとみ 氏 第 2 回打合せ ※対面 →講演内容、鼎談内容の打合せ
令和 6 年 10 月 13 日	シンポジウム当日

5 報告事項

- ・工藤夕貴様、久保ひとみ様ともにシンポジウムに係る依頼内容について
- ・チラシ案について

ふじさんネットワーク 設立25周年記念シンポジウム

美しい富士山を未来の子どもたちに
Bringing the beautiful Mt. Fuji to future children

2024.10/13 (Sun) 13:30⇨
15:30

富士市文化会館ロゼシアター 中ホール

定員
400人
入場無料
要申込

プログラム	
13:00	会場
13:30	オープニング
13:35	基調講演 テーマ「そこに富士山があるから・・・ ～日本人の心のふるさと～」 講演者 工藤夕貴氏
14:35	休憩
14:45	ふじさんネットワーク活動紹介
14:55	鼎談 テーマ「富士山の魅力、そして将来」 登壇者 工藤夕貴氏 久保ひとみ氏 増澤 武弘氏
15:30	エンディング

基調講演



工藤夕貴氏

俳優/歌手/静岡県観光大使/多くの日本百名山に登頂し、山好き俳優として活動/富士宮市に移住し、俳優をする傍ら、富士山の見える農場で、自然農法を取り入れた野菜栽培や米作りに取り組みながら、『カフェ・ナチュレ』というカフェレストランを運営

司会者



久保ひとみ氏

タレント/ラジオパーソナリティ/
主に県内で活躍する/静岡県浜松市出身

コーディネーター



増澤武弘氏

ふじさんネットワーク会長/静岡
岡大学客員教授/富士山の
植生研究の第一人者

詳細/事前申込

申込締切
9/6(Fri)

右の二次元コードを読み込んでアクセスいただきますと、
申込みフォームが開きます。
必要事項を記入のうえ、申してください。



参加者には25周年記念
エコバッグプレゼント!

主催 **ふじさんネットワーク**

後援 **静岡県**

Tel. 054-221-3498
FAX 054-221-3278
Mail 3776fuji@pref.shizuoka.jp

ふじさんネットワーク公式ホームページ

<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

富士山写真:静岡県観光協会



ふじさんネットワーク設立25周年記念シンポジウム

美しい富士山を未来の子どもたちに
Bringing the beautiful Mt. Fuji to future children

2024.10/13(Sun)13:30⇒15:30

GUEST

講演者・登壇者紹介

富士市文化会館ロゼシアター



基調講演 Keynote speech

【講演テーマ】そこに富士山があるから・・・

～日本人の心のふるさと～

【講師】俳優/歌手 **工藤夕貴氏**

静岡県観光大使。1983年に芸能界入り、今井正監督の遺作となった『戦争と青春』に主演し、最年少でブルーリボン賞主演女優賞を受ける。

数々の日本映画をはじめ、『ラッシュアワー3』『SAYURI』などのハリウッド映画へも多く出演している。

アメリカから帰国後は、富士宮市に移住し、俳優をする傍ら、富士山に見える農場で、自然農法を取り入れた野菜栽培や米作りに取り組みながら、『カフェ・ナチュレ』というカフェレストランを経営する。

ここ数年は、多くの日本百名山に登頂し、山好き俳優として活動するとともに、全国で食と農業と健康を題材とした『食の講演』も行っている。

最近では、亡き父井沢八郎の『あゝ上野駅』を歌い継ぎ、歌手としての活動も再開した。

鼎談 Discussion

【鼎談テーマ】富士山の魅力、そして将来 【ゲスト登壇者】久保ひとみ氏

あなたはどんな富士山が好きですか？
どんなところから富士山を見て楽しめますか？
富士山に登ったことはありますか？
富士山をモチーフにした音楽、文学、美術、、、。
富士山は百人百様の楽しみ方があります。
一方で、近年、富士山のごみ問題、生物多様性、登山マナーなど、課題を取り上げられることも少なくありません。
富士山の魅力と課題について、静岡を代表するゲストの皆様と話し合います。



タレント/ラジオパーソナリティ/主に県内の情報番組やラジオ番組で活躍する/愛称は「久保ちゃん」/静岡県浜松市出身

静岡県内を数多くメディアで扱ってきた経験から、富士山についてお話しさせていただきます！

ACCESS 会場アクセス

公演日には駐車場が大変混雑いたします。
満車で駐車できないことがありますので、バス・タクシー等のご利用をお勧めします。



バス案内

JR富士駅からお越しの場合

JR富士駅（北口）より
中央病院経由吉原中央駅行き
[約15分]
「ロゼシアター入り口」下車
[徒歩2分]
ロゼシアター

JR新富士駅からお越しの場合

JR新富士駅（富士山口）より
吉原中央駅行き
[約15分]
「ロゼシアター前」下車
[徒歩すぐ]

※バス停A「ロゼシアター入り口」にも「新富士駅」経由の路線あり⇒「ぐるっとふじ」

事前申込について

参加希望者は、表面の二次元コードから申し込むか、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、<郵便><FAX><電子メール>のいずれかによりお申込みください。

ふじさんネットワーク事務局

〒420-8601
静岡市葵区追手町9番6号
静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内
Mail 3776fujii@pref.shizuoka.jp

富士山エコレンジャー体験イベント

1 要旨

ふじさんネットワークが令和6年度に設立25周年を迎える(平成11年10月23日設立)にあたり、富士山の環境保全に関する理念や富士山憲章、活動状況等を、広く県民の方に理解していただく記念事業を開催する。

2 ねらい

- ・富士山の自然の素晴らしさを理解していただく
- ・富士山の環境保全に携わる富士山エコレンジャー活動の認知度向上

3 イベント概要

開催日	令和6年10月20日(日) 予備日27日(日) (想定時間10:00~14:00)
会場	西臼塚 富士山ふれあいの森林遊歩道(富士山自然休養林Lコース)
参加者	20人程度(小学3年生以上)
内容	富士山エコレンジャーの活動内容を知ってもらい、富士山の環境保全活動の意義を体験してもらうイベント <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・遊歩道でのフィールドマナーの学習、樹木・草花の情報収集など ・振り返り
予算	200,000円
備考	<u>子どもから大人まで、将来の富士山エコレンジャー・エコサポーターの担い手育成・確保が必要です。そのため、幹事の皆様の所属をはじめ、ふじさんネットワーク会員への参加要請をしたいので、御協力をお願いします。</u>

4 スケジュール

令和6年4月	広告媒体への参加者募集の掲載依頼
令和6年6月	公募開始
令和6年10月20日	開催日(予備日10月27日)

記念ノベルティグッズの製作

1 要旨

ふじさんネットワークが令和6年度に設立25周年を迎える（平成11年10月23日設立）にあたり、富士山の環境保全に関する理念や富士山憲章、活動状況等を、広く県民の方に理解していただく記念事業を開催する。

2 ねらい

ふじさんネットワークの認知度の向上

3 イベント概要

製作時期	企画案1のシンポジウムでの配布に合わせて製作
内 容	25周年記念エコバックの製作・配布
予 算	750,000円（1,200個） <ul style="list-style-type: none"> ・記念シンポジウムでの配布用（350程度） ・各種イベントでの配布用（150程度） ・会員配布用（30団体×20個）

4 スケジュール

時 期	内 容
～6月	デザイン決定、業者打合せ
6月	総会において製作案の提示
9月	完成

5 デザイン案

